

Y! mobile & Kohara RT

2015 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ 第8戦

SUPERBIKE RACE in OKAYAMA

岡山県・岡山国際サーキット(1周=3,703km)

■大久保 光 ST600 予選:4番手 (タイム:1分34秒384) 決勝:3位

■伊藤 和輝 ST600 予選:24番手 (タイム:1分37秒627) 決勝:15位

■岡崎 静夏 J-GP3 予選:18番手 (タイム:1分38秒947) 決勝:12位

天候: 2015年10月17日(土) 晴れ コース: ドライ

10月18日(日) 晴れ コース: ドライ

観客動員数: 8,200人 (2日間合計)



39

大久保 光 Hikari Okubo
class : ST600
machine : Honda CBR600RR

40

伊藤 和輝 Kazuki Itoh
class : ST600
machine : Honda CBR600RR

22

岡崎 静夏 Shizuka Okazaki
class : J-GP3
machine : Honda NSF250R

大久保がトップ争いを展開し3位表彰台を獲得!

第7戦筑波が関東・東北水害の影響で中止となつたことで、J-GP3クラスとST600クラスは、第4戦SUGO以来、約3カ月半ものインターバルをあけ、今回の第8戦岡山国際ラウンドを迎えた。

2週間前に行われた事前テストで久しぶりにマシンを走らすことになった3人。しかし、テスト開始早々に岡崎が転倒。身体は大丈夫だったが、その日は、走れず終いとなってしまう。大久保、伊藤は、ST600で初めて走る岡山国際サーキットを徐々に攻略しながらベースを上げて行った。

レースウイークに入るとST600クラスのトップは1回目の走行で1分33秒台に入れてくる。大久保は、その時点で1秒以上遅れを取っていたが、2回目のセッションで1分33秒993をマークし、4番手をつけた。



ST600クラスは、今回から予選方式が変わりQ1で上位12名のAグループ、13番手以下のBグループが決まり、Q2で、それぞれのグループの順位でグリッドが決まることになった。タイヤは、予選、決勝と1セットのままだけに、Q1のワンタックで12番手以内に入り、Q2のワンタックで、どれだけ上位に行けるかというが上位陣のセオリーな戦い方だ。



大久保はQ1で1分34秒376をマークし4番手につけAグループを決めるが、伊藤は17番手とBグループに沈んでしまう。Q2では、失敗したと言ひながら大久保は1分34秒384を出し4番手と上々のポジション。伊藤は、うまくタイムを出すことができずに24番手となった。J-GP3クラスの岡崎は金曜日に問題になっていた部分を解決し、いいフィーリングになってきていたが、予選のポジション取りがうまく行かず、タイムを伸ばせずに18番手となる。予選4番手までは約1秒しか差がなかつただけに悔しい予選となってしまった。



日曜日最初のレースとなったJ-GP3クラス。岡崎は、11番手争いを3台で展開。レース終盤には、8番手争いの集団に追い付くが、前に出ることができずに12位でゴール。シングルフィニッシュも射程に入ってきただけに予選のポジションが悔やまれるところだ。



ST600クラスは、大久保がデチャ選手、横江選手と三つ巴のトップ争いを展開。7周目には横江選手をヘアピンでかわし2番手に浮上。さらに前を走るデチャ選手のテールをマークし、トップに出るチャンスを伺うが、9周目のアトウッドカーブではらんてしまい、横江選手にかわされ3番手に後退。何とか前に出ようとチャンスを伺うが、残り2周でスパートをかけられると、ついて行くのが精一杯だった。だが、そのまま3位でゴールしST600クラス初表彰台を獲得。レーシングライダーとして成長を感じさせるレースとなった。伊藤は、15位でゴールし、しっかりポイントを獲得した。

大久保 光 コメント

「3カ月も間が空いてしまいましたが、その間、600に乗るためにしっかりトレーニングを積んできました。タイヤマハの3台にいつも前に走行されていたのですが、決勝日朝のウォームアップ走行では初めてトップタイムをマークするなど、フィーリングはよかったです。決勝でも最後までトップ争いをできたことは自信になりましたし、表彰台に上がれたことは、うれしいです。次回は、さらに上でゴールしたいと思っています」

伊藤 和輝 コメント

「予選方式が今回から変わったのですがQ1でタイムを出せず失敗してしまいました。マシンセットがうまく決まらず、決勝日朝のウォームアップ走行でもセットを詰めることができなかつたので、厳しいレースになると思っていました。レースで分かったこともありますし、多くの方にアドバイスいただいたので、鈴鹿でしっかり生かせるようにしたいです」

岡崎 静夏 コメント

「予選のポジションが悪かったのが響きました。事前テストから金曜日と課題となっている部分を解決していったのですが、予選でタイムを出す場所を取り失敗してしまい、詰まってしまう状態でした。マシンに関しては大久保選手が、いいアドバイスをくれたおかげで、いいフィーリングになっていました。集団の前でゴールできればシングルでゴールだったので、次回こそ課題をクリアして前でゴールしたいです」

小原 齊 監督コメント

「大久保は、ST600、1年目ながらペテン勢と互角の戦いをして表彰台に上がってくれました。もちろん優勝が一番ですが、合格点だと思います。伊藤も頑張っていると思いますが、全日本2年目、ST600、1年目という状況では難しい部分も多いので、まだまだ、すべてにおいて勉強して成長できるようにサポートしようと思います。岡崎は得意な岡山ということで気負う部分があったようです。1桁に入るには、何が足りないか分かったレースになったと思うので、次戦に期待です」

Y! mobile & Kohara RT

〒336-0977 埼玉県さいたま市緑区上野田607-1
TEL.048-878-7020 FAX.048-878-5688

NISSIN

YUTAKA
Chair for the Future

SHOWA

RK
TAKASAGO CHAINNGK
SPARK PLUGS

MOTUL

SERVOSERVO X-RAM

F.C.C.

TSR
TIME SPEED RECORD

Micron

ENDURANCE
RACING

B TITANIUM

ROUTE ONE